



こんにちは

村田 けい子

2020.2.27
№237

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。
移動事務所 090-9144-

発行/日 2868 立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267 (56)

「ブランドって何？」 林靖人 教授 (学長補佐) 感性情報学 (信大の出前講座より)

北佐久郡町村議会議員研修会を、立科町の老人福祉センターで行い、立科・御代田・軽井沢町の議員が集まり、感性情報学(認知心理学の一端を研修しました。異色の心理学・感性情報学とは全くなじみのない分野のお話でしたが、一端を披露してもらい、人の認識の仕方・人間の情報処理や認知機能の講義を受け、体験もしました。

地域の都市・自治体のブランディング＝ それぞれの地域の特徴を発信して、「s訪れたくなるイメージをどう持ってもらうかの戦略」を作ることが大事ということかな、と理解しました。



林教授は大町市のブランド化にチャレンジし、本来は富山県にある「黒部ダム」を大町市の「水、川、湖、森林」と結びつけて大町ブランドとして強化。それまでであった「アーチカレー」(ご飯をダムの形に盛り付け、カレーを水にみたてたもの)を「黒部ダムカレー」というユニークな名前に変えて広くアピール。ポスターやチラシで発信し、ご当地グルメとして若者に広く知られるようになったそうです。

地域のブランド製品の開発では、見どころと共に「ご当地グルメ」が大事であり、感性を動かす情報は勝手に広がること。つまり口コミやネットなどでどんどんと拡散するから、そうした特産品やイベントの打ち出し方が重要というもの。

- 「ダムカレー」というには(共通項)それ以外は店の工夫。
- ①お米をダムの躯体の形
 - ②カレーのルーは、ダムの内側に流し込む
 - ③遊覧船に見立てたトッピングを載せる
 - ④、料金は700円以上
 - ⑤必ず水を付けるべし

- 【人がうごくしかけ】として紹介されたのが、
- ①上にバスケットゴールが設置されたごみ箱。その周辺にはごみは少ないはず、みなこのゴールに入れてみたくなるから。
 - ②階段の側面に「ここまでの消費カロリーは約〇〇kcal」の表示。やる気を刺激する工夫です。

【消費行動の実際】
コアな人(5~10%)が45%以上の消費をし、コア+ファン(30~40%)が消費の80%以上を占める

という命題はなかなか考えられました。
政策立案やアピールの際に、全体ではなく、ほんの一部の人のためのものが、結果的には多くの人の心を動かすことにつながる話として紹介されました。

【質問コーナーで】立科町のイメージは？と質問。「山・リンゴ・歴史ある町」というのが2、3度訪れたイメージだということ。「広い空も魅力では？」と聞くと「下ってきたときの景色は素晴らしい」と答えていただきました。

地域の魅力発信には、地域住民や訪れた人たちが皆でその魅力を語り合うことから始まると思いました。



何か出てこないかな？

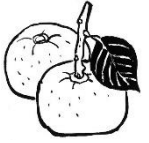
今週のパチ

「ちょっと来て！鳥が来ているよ！」カメラを手に飛び出すと、胸が鮮やかな金茶色の小型の鳥が竿の先に。ジョウビタキとのこと。あちこちに立ててある支柱の先や土の上、切り株の上などにひよこひよここと移動し、耕した土を見ている。夫のすぐそばまで来て、眺めています。

夫が畑を耕していると必ず1現れる、とのこと。「どこで見ているのかな。俺の後をついてきたりするんだよ。夫も張り合いがいいようです。



ゲスト 中村喜四郎さん



総選挙勝利 共産党の力必要

特別ゲストとの紹介をいただきました。実は、社会保障を立て直す国民会議の 広田一衆院議員は、高知県知事選(候補)の松本(顕治)さんの応援のために一緒にたたかった同志であります。行けないから代わりによろしくとみなさんに伝えてほしいといわれました。

私は国会議員を、のべ40年間、やらせてもらい、共産党とは14回選挙でたかってまいりました。私は、共産党とはかけ離れた立場の者でありますから、まったく違う話をしようと思っています。共産党に対して外交だとか防衛だとか“何言ってんだ”と突き上げられるようなことを言うのも、多様性を認めた共産党に対する私の立場かなと思うのでお許しをいただきたいと思ひます。

私たち、長年、自民党にいた人間からみると、アメリカの核の傘に入っていれば、もう絶対大丈夫だと思っているわけですが、それが、だんだん通らなくなっている。

トランプ政権は昨年12月にイラクの米大使館が襲撃されたとき、「戦争を求めない」と言ったが、ソレイマニ革命防衛隊司令官を襲撃して殺害した。トランプ政権は何を根拠にしているのか言うことがくるくるかわる。どの問題でも外交や防衛をぼかそうとしている。

今のアメリカに寄り添っていくことで日本の安全が担保できるのか、根本が問われる状況になっています。

野党が政権をとる以上、外交や防衛など国民が心配している問題に答えられるのか、「野党のほうかやるよね」「野党のほうがいいよね」と言われるような野党に変わっていくことが今回の第28回大会だということです。

次の総選挙の小選挙区で100取らなければならない。そのためには日本共産党の力が必要です。

日本共産党の力を借りて小選挙区で勝つ。そのためには東京都知事選挙をみんなでたたかい、志位さんのめざしている「オール野党」で勝ち抜く。みなさんと一緒に、私は違った立場ですが、がんばっていききたい。

(1.15 共産党ホームページより)

西塩沢公民館女性部のイベント「お楽しみ研修会」

腹話術 ヒロ・タッキーさん



羊のメイメイ、カラス、おばあちゃん。巧みな人形遣いと語りで、引き込まれてしまいました。30分があっという間でした。

一つ一つは単純だけど組み合わせるとうまくいかないシナプソロジー。田中光子さん



立科町には多彩な才能をお持ちの方が多くですね。シナプソロジーインストラクターと落語家さん。素晴らしい方たちです。



演目は「お血脈」(けちみやく)

水道家関ちゃん師匠

私は今年、西塩沢の公民館女性部の役員を受けています。2. 1に「お楽しみ研修会」を計画し役員10人で力を合わせて大成功でした。ステージの飾りつけや椅子の配置、落語の高座をつくる、温かいお茶を用意するなどの準備や、司会、出演者紹介、お礼の挨拶など、みんなで分担して進めました。

高座は、酒屋さんからビールケースを借りてきてその上にコンパネを置き、毛布をかぶせ、唐草模様の風呂敷で覆い、その上に紫の座布団。背景の屏風に、松竹梅の切り紙で飾り付け。休憩のわずかな時間に高座を作るのも、総がかり。こうした一つ一つの共同作業を通して、お互いが知り合い、地域の絆が作られるのだと思います。全く知らなかった住民同士ですが、終わるころには親しくなってお話ができる関係になればいいなと思います。大切な地域活動です。皆さん、お疲れさまでした。